

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

読者の皆様にとりまして、本年がよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

おかげ様をもちまして、本誌「モダンメディア」は、1955年8月の創刊から本年で60年目を迎え、また、3月号で通巻700号を数える運びとなりました。60年という長きにわたり発行を継続できましたのも、ひとえに読者ならびにご執筆の先生方、歴代の編集委員の先生方をはじめとする本誌にご支援をいただいている皆様のおかげと心より御礼申し上げます。

弊社は、臨床検査および食品・環境検査分野を中核に、グローバル企業を目指して活動しております。特に、健診（検診）分野、感染症分野の製品開発、販売に注力し、人々の健康と医療に貢献したいと考えております。

昨年は、世界初の生物発光酵素免疫測定法（BLEIA法）を原理とした「全自動生物化学発光免疫測定装置BLEIA[®]-1200」用の体外診断用医薬品としてHCV抗原・抗体ならびにHBs抗原の測定キットを発売いたしました。今後も肝炎ウイルス検査薬の品揃えを進めるとともに、BLEIA[®]法の特徴を活かし、より高感度な測定が求められる感染症検査試薬の開発を進めてまいります。

近年流行している肺炎マイコプラズマ感染症では、遺伝子検査薬の「Loopamp[®]マイコプラズマP検出試薬キット」をご利用いただいておりますが、DNA抽出が煩雑で、簡単、迅速な抽出法の開発が求められておりました。昨年10月に簡易抽出キット「Loopamp[®]SR DNA抽出キット」を発売し、急性期の確定診断がより多くの施設で実施できるようになり、肺炎マイコプラズマ感染症の診断補助ツールとして貢献できるものと考えております。

また、大腸がん検診の受診促進、早期発見を広く継続的に呼びかけ、受診の輪を広げていく「ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーン」の活動に賛同し、昨年もTokyo健康ウォークをはじめ全国で展示イベント等に協賛し、ご参加の皆様は大腸がん検診の定期的受診による早期発見・早期治療の大切さについて理解を深めていただきました。

さて、発刊60年を記念した新春放談『グローバル化時代の臨床検査』では、各分野を代表される方々をお招きし、グローバル化時代を迎えた臨床検査が担う医療・ヘルスケアへの貢献と展望を語っていただきました。また、通巻700号を迎える3月号では記念座談会ならびに特集記事を企画しております。ご期待ください。

これからも皆様一人一人にご満足いただける誌面となるよう努力を重ねてまいりたいと存じます。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成26年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

寺本 哲也